

3. 酒々井町立酒々井小学校

(1) ふれあい活動

本校の目指す児童像「仲良く・元気に・がんばる子」の実現のため、また、よりよい人間関係の形成をはかるため、21の全校児童縦割りグループ（ふれあいグループ）を作り、異学年交流活動を行っている。どの活動についても振り返りの時間を作り、互いの良さやがんばりを認め合うことを大切にして、児童が充実感や達成感を得て、自己有用感が高まるようにさせている。

① フレンド給食

月に一回、ふれあいグループで給食を食べ、交流を深めてきた。各グループをさらに3つの小グループに分け、配膳の当番を順番に行うようにすることで、どの児童も自分の役割をもてるようにした。また、小グループを作ることにより、多くの6年生がリーダーとしての活動ができた。年度当初は緊張気味だったが、ともに活動していく中で所属意識を高め、自分がグループの活動に役立っているという感覚が養われている。



② ふれあいタイム



月に2回程度、昼休み・掃除の時間帯を使って、ふれあいグループで仲良く遊んだり、全校遠足などの行事にグループ単位で参加したりするための活動をしている。6年生を中心に遊びを考え、みんなで遊ぶようにしてきたが、5、6年生合同のリーダー会議を

開いたり、徐々に5年生が中心になる日を作ったりして、5年生から計画に関わるようにしている。グループのために活動しているという意識が高まるだけでなく、次年度の活動がスムーズに始まる良さがある。

振り返りの時間では、高学年からは低・中学年の一生懸命さや楽しんでいる様子について認め、低・中学年からは、互いの良さや計画をした高学年に対する感謝の言葉などが話されている。高学年は、活動する前に活動計画を作り、活動ごとに担当の教員から励ましのメッセージをもらうようにしてきた。これらの繰り返しにより、計画を立てる高学年も自信をもって活動に臨むことができている。

③ 全校遠足

2学期に酒々井運動公園までグループで歩いて行き、そこでお互いに助け合って活動することで、よりよい人間関係を作ったり、グループの結束を強めたりしてきた。事前の話し合いで、それぞれの児童がどのように関わることができるかを考え、全校遠足に主体的に関われるようにしてきた。6年生は遠足の活動全体について考え、5年生は遊びの場面でリーダーになるようにし、その他の学年はしおりや、食事に関わる担当を割り振った。



④ なかよし清掃

2学期からふれあいグループで清掃活動を行った。ふれあいグループで校内の清掃を分担し、自分の活動がみんなの役に立っているという実感を得られるように、また、高学年がリーダーシップを発揮するように指導してきた。それぞれの場所のリーダーがメンバーの活動をよく見て、メンバーのがんばりを認める場を設けた。



⑤ 酒々井音頭

運動会の全校ダンスは例年、酒々井音頭をふれあいグループごとに集まって行っている。運動会の全校練習時やふれあいタイムに練習に取り組み、運動会では保護者にも参加を促し、楽しい雰囲気の中で踊った。

⑥ ふれあい競技

グループへの所属意識を高める上で有効な手立てであるとともに、学校が力を入れている活動を保護者に知ってもらうよい機会であると考えている。

(2) その他の取組

① なかよし映画会

- ・人権尊重をテーマとする映画を視聴する。人権意識の向上を図る。

② 人権作文

- ・日ごろの生活の中で考えた人権に関わることを作文にして自分の心と向き合う。
- ・学級から1点ずつ掲載されている酒々井町小中学生人権作文集を配付する。

③ 人権標語

- ・5, 6年生を対象にした「印旛郡市小学生人権標語コンテスト」に応募する。
1～4年生は学年に応じて標語作り（なかよしカルタ）に取り組む。

④ 人権ポスター

- ・6年生を対象に、人権に関わるポスター作りを行う。
- ・自分や友達を大切にしている気持ちや願いを絵に表す。

⑤ 人間関係づくり（ピアサポート）

- ・授業を通して日常的に豊かな人間関係づくりを推進する。

⑥ 性に関する教育（学級活動，保健体育科，道徳，生活科，理科）

- ・生命を尊重し，優しさと思いやりの気持ちを持って共に生き抜こうとする児童を育てる。

⑦ 「確かな学力」を育てるための指導

- ・算数科少人数授業の実施（1学級を2つに分けたり3学級を4つに分けたりする）
- ・朝の読書活動（月・火・木 8:00～8:15）朝のドリルタイム（水・金 8:00～8:20）
- ・繰り返し学習により児童の学力向上を図る。（ドリル・プリント）

⑧ 集団登校

- ・上級生が下級生の面倒を見ながら，安全に登校する態度を育てる。

⑨ ほのぼのの木

- ・友だちの思いやりのある行動をカードに記入し，掲示したり放送したりする。

(3) 人権週間にちなんだ取組

- なかよし集会（児童集会で人権標語の発表とエンカウンター的ゲーム）

4. 市原市立八幡^{やわた}中学校 ～6月生徒集会『いじめ撲滅に向けて』の活動～

(1) 本校の取組の概要

市原市立八幡中学校では6月の生徒集会でいじめ撲滅集会を毎年行っている。各クラスで「いじめをなくすためにクラスでできること・約束事」について話し合い、それを全校集会で発表し合い、『八幡中憲章』『いじめ撲滅宣言』の確認をする場となっている。

(2) 計画（職員会議で提案されたもの）

① 目的 中学校生活での友人関係を築くうえで、心構えの確認の機会にすること。学校全体で、いじめ撲滅に向けた意識を持たせること。

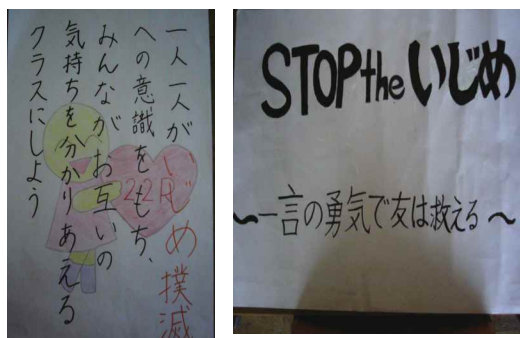
② 6月27日（水） 5校時 場所は体育館・服装はジャージ

③ 内容・進行 (生徒会本部)	ア はじめの言葉 イ 校長先生のお話 ウ 生徒会長のお話 エ いじめ撲滅に向けた各クラスの動きを発表（1年1組から） 各クラスごとにまとめた、いじめ撲滅への動きを発表。 スクリーンに、各クラスで作成した掲示物を映しながら説明する。 オ 各クラスに掲示用の『八幡中憲章』『いじめ撲滅宣言』を渡す カ 生徒会本部よりYRF活動(yellow ribon friends)の紹介 キ 連絡のある委員会から ク 終わりの言葉 ケ 諸連絡
--------------------	--

- ④ 当日までの準備
- 5/7（月）いじめアンケートの実施。
 - 6/13（水）評議会で各クラス委員長へ内容を説明する。
 - 6/19（火）学級の時間等を利用して「いじめをなくすためにクラスでできること・約束事」を話し合い、まとめる。
 - 6/22（金）この日までにクラス用掲示物を作成する。放課後までに生徒会へ提出。生徒会で掲示物を作成し、当日スクリーンに映す。
 - 6/27（水）いじめ撲滅集会実施

(3) 具体的内容

- ① クラスでの話し合いの例
- 目標
- ・人の気持ちを考え、自分がされたら嫌なことを考えさせる。
 - ・いじめをなくすためにクラスでできることを考えさせる。



クラスで画用紙に書いた掲示物